

令和5年度 第2回 磐田市多文化共生社会推進協議会 次第

日時：令和5年10月20日（金）

19：00～20：30

※終了時刻は目安となります。

場所：磐田市役所 本庁舎

4階 大会議室

1 開 会

2 副会長あいさつ

3 報告事項

(1) 第1回協議会の振り返り・・・資料1

(2) 磐田市版やさしい日本語ガイドブックについて・・・資料2

(3) 外国人アンバサダー就任について・・・資料3

4 協議事項（ワークショップ）

(1) 次年度開催予定 県西部地域合同 企業向けセミナー事業に向けて・・・資料4

5 閉 会

令和 5 年度 第 1 回磐田市多文化共生社会推進協議会 摘録

日 時	令和5年6月 19 日(月)午後7時 00 分～午後9時 00 分
場 所	磐田市役所 本庁舎4階 大会議室
出席委員	佐伯会長、田中副会長、藤原委員、川原委員、渡邊委員、平野委員、相川委員、鈴木委員、仲村委員、松井委員、神谷委員、薛委員
事務局	副市長、自治デザイン課長、ダイバーシティ推進室長、担当職員 2 名
オブザーバー	学校教育課 担当職員 1 名 多文化交流センター センター長
特別講師	名古屋出入国在留管理局 職員 2 名

[会議内容]

1 開会

2 委嘱状交付

3 会長あいさつ

4 報告事項

- (1) 磐田市多文化共生社会推進協議会について 資料 1
- (2) 外国人アンバサダーの募集について 資料 2
- (3) 多文化共生 PR 動画の発信について 資料 3
- (4) 令和4年度プランの取組み結果について 資料 4
- (5) 令和5年度プランの取組み計画について 資料 5

5 協議事項

- (1) 特定技能資格の家族滞在が可能となった 資料 6
場合に想定される課題の検討

6 閉会

[会議概要摘録]

1 報告事項に対する主な意見

(1) 自治会における多文化共生

- ・日本人と外国人が相互に“言葉の壁”を感じており、交流が取れていない。
- ・自治会は、外国人に情報を伝える方法がわからない。
- 外国人は情報が届いていないため、自治会活動を知らない。わからない。

(2) 企業における日本語教育意識

- ・多くの外国人雇用企業が日本語教育に対する関心が低い。
- ・浜松市のように、企業に対するインセンティブが無ければ関心を持たない。
- ・中小企業の多くは、技能実習生を雇用している。実習生は一定レベルの日本語能力を身に付けて来日するため、課題を感じていない企業もある。

(3) 外国人向けの情報発信

- ・磐田市の取組みは先進的だが、多くの外国人に届いていない。
- ・翻訳して情報発信されているが、内容が難しく理解できる外国人は少ない。
市から発信される情報は、1件の情報量が多く、内容も難しい。
- ・伝える情報発信から、伝わる情報発信にしていく必要がある。

2 協議事項における主な意見

(1) 技能実習制度及び特定技能制度の見直しの方向性

①技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議の方向性

技能実習制度は人材育成を目的とする制度であるが、実態を踏まえ、人材確保を目的に加えることを検討する。

これに伴い、これまで技能実習生の転籍は原則不可とされていたが、人材育成に由来する転籍制限は残しつつも緩和することを検討する。

②特定技能 2 号分野の対象分野追加

家族の帯同が認められている特定技能2号について、本年6月9日の閣議決定により対象分野が追加されることとなった。

(2) 制度見直しにより生じる影響

①技能実習生の転出

- ・在留期間が定められているため、短期間で技術習得や稼ぎたいと考える方が多い。
そのため、転籍緩和された場合、最低賃金の高い都心部へ転籍することが予想される。
外国人に「選ばれる磐田市」になるべく、企業、行政ともに対策が必要。

②家族帯同可能となり、来日する外国人の受入

- ・技能実習や特定技能資格の在留者は、日本語を学んで日本に来るが、帯同する家族は日本語がわからないため、日本語習得支援が必要となる。
- ・学校では、教育については問題無いが、いじめや家庭環境などのデリケートな相談に対して、新たに対応できる通訳者が必要となる。
- ・情報の取得方法や、ゴミ捨て等の生活ルール、病院の場所などについて、転入時にきちんと伝えることが大切。外国人情報窓口のオリエンテーションの充実が重要。

磐田市版やさしい日本語ガイドブックについて

外国人向けに日本語教室で日本語習得を支援すると共に、日本人に対して「やさしい日本語」を普及する事で、言語の壁に対して互いに歩み寄る磐田を目指して、磐田市版やさしい日本語ガイドブックを作成しました。

1 磐田市版の特徴

(1) 4コマ漫画挿絵により、楽しく学べます。

- ・磐田市独自のガイドブックを作成するにあたり、イメージキャラクターとして、「やさしらす君/ちゃん」を生み出し、文章だけだと難しそうに見えるやさしい日本語を、より手にとりやすく、視覚的にわかりやすくしています。

(2) 様々な生活シーンに対応した活用事例の紹介

- ・やさしい日本語の作り方だけでなく、行政や学校、企業、地域など様々な分野でよく使うフレーズのやさしい日本語言い換え例を掲載しています。
- ・今後、イメージキャラクターを活用して、言い換え事例アニメーションや、言い換え事例絵本などの展開を検討しており、より多くの方が興味を持てるようにします。

2 広報・周知

(1) HP や FACEBOOK への掲載

- ・磐田市公式ホームページや、多言語版 FACEBOOK へ掲載し、SNS 上で発信しています。

(2) 関係機関への冊子配布

- ・磐田国際交流協会、外国人情報窓口、各交流センターなどへ冊子を配布しています。

3 今後の普及計画

(1) 庁内向け研修会の実施

- ・令和5年度、庁内職員向けに研修を実施し、市としてやさしい日本語を活用する意識を醸成し、外国人だけでなく、子どもや高齢者にも伝わる文書作成を推進します。

(2) 自治会（協議会）向け研修会の実施

- ・令和6年度から、自治会又は協議会を対象とした研修の実施を計画しています。
やさしい日本語を知っていただき、使い方や翻訳機などと併せた活用方法を紹介し、外国人対応の方法や、接し方について理解を深めます。

(3) 企業向け研修会（説明会）の実施

- ・令和7年度から、企業単位や、複数企業の担当者向けに研修の実施を計画します。
まずは、次年度から企業との連携方法について検討を深めていきます。

外国人アンバサダー就任について

第1回協議会で報告したとおり、アンバサダーを募集のうえ面接を行い、5名の方に就任していただきました。アンバサダーのプロフィールや、活動状況について以下のとおり報告します。

1 アンバサダーのプロフィール

- (1) 江連 レオナルド ヒサトシ (ブラジル国籍、男性、53歳、永住者)
 - ・派遣企業に勤務しており、派遣会社の外国人コミュニティと繋がりをしている。
- (2) アレクサンドロ ダ シウバ (ブラジル国籍、男性、44歳、永住者)
 - ・Youtube で個人的に日本文化の情報発信をしており、自発的な発信力が高い。
- (3) 大庭 ズエルマ ルナリア (フィリピン国籍、女性、53歳、永住者)
 - ・磐田市の小中学校の相談員として勤務しており、教育関連の相談を受けていたことで、フィリピンコミュニティの相談窓口になっている。
- (4) ドティ ミン フォン (ベトナム国籍、女性、32歳、日本人の配偶者)
 - ・子が幼稚園に通っており、同国籍のママ友の相談を受けている。
 - Facebook で実習生に向けて生活情報を発信する。相談を受けるなどしている。
- (5) 宇野 冬美 (中国国籍、女性、55歳、帰化)
 - ・中国のSNSコミュニティ「Wechat」で、約700人の方に対して情報収集及び発信ができる。

2 活動状況

- (1) 市が発信する情報の拡散
 - ・市が多言語で発信した情報について、各自 SNS や所属コミュニティに対して拡散
 - 【ポルトガル語】フォロワー数+70人、明らかに新しいコミュニティ届くようになっている。
 - 【タガログ語】フォロワー数+25人、閲覧数がどの情報も+70~80件
 - すでにフォローしていた方が、情報に関心を持つようになっている。
 - 【ベトナム語】フォロワー数+25人
 - アンバサダー拡散した情報は、他情報に比べ+100件ほど多い。
 - 【中国語】Wechat で拡散しているが、閲覧状況の確認方法が無く、検討中
 - これまで、中国籍向けには何も無かったため、効果はあると考えている。
- (2) アンバサダー会議
 - ・令和5年9月9日(土)午前10時~11時30分 第1回会議を開催
 - ・委嘱状の交付や、役割の確認、アンバサダー同士の交流の場とした。
 - ・外国人市民には、思っている以上に情報が届いておらず、せっかくの素敵な取組みを知らない人が多いということがわかった。

企業向けセミナー 企画書

1 経緯及び目的

(1) 現状

- ・少子高齢化の深刻化により、労働力・地域の担い手不足が大きな課題
- ・この課題に対し、県西部地域は「外国人財に恵まれている」という特性を活かせる。
- ・外国人材の活用を考える企業・自治体が増えている。
- ・諸外国の技術発展が進んでいる。

(2) 課題

- ・諸外国及び国内で外国人材の受入競争が予想される。
競争に負けると ⇒ ⇒ ⇒ 労働力・地域の担い手となる外国人財を失う可能性がある。
- ・自治体による環境整備だけでなく、生活の中心となる「企業」の協力が必要だが、外国人財を「安価な労働力」、「言葉やルールを知らない」と考え、人材育成や労働環境整備について、日本人と等しく扱っていない企業が存在する。

(3) 目的

- ・「行政・地域・企業」が課題を正しく理解し、外国人財の必要性、有用性を知ること、
“外国人に選ばれ続ける地域”を目指し、相互に協力して取り組む意識を醸成すること。

2 企画内容

(1) 概要

- ・県西部地域合同（磐田・袋井・掛川・菊川・森町）
官民連携型・企業向けセミナーの開催（ウェビナー対応）

(2) 場所

- ・磐田市民文化会館「かたりあ」及び Zoom（仮決定）

(3) セミナー内容

- ① 移民政策から読み取る日本の未来（1h）
講師：静岡文化芸術大学 国際文化学科 准教授 佐伯康孝氏
- ② 外国人材育成に力を入れた派遣会社の成功（1h）
講師：UT スリーエム株式会社 本部長 横山真司氏
- ③ 未定
講師：未定（UT スリーエムによる講師の紹介）

(4) 開催時期及び予算

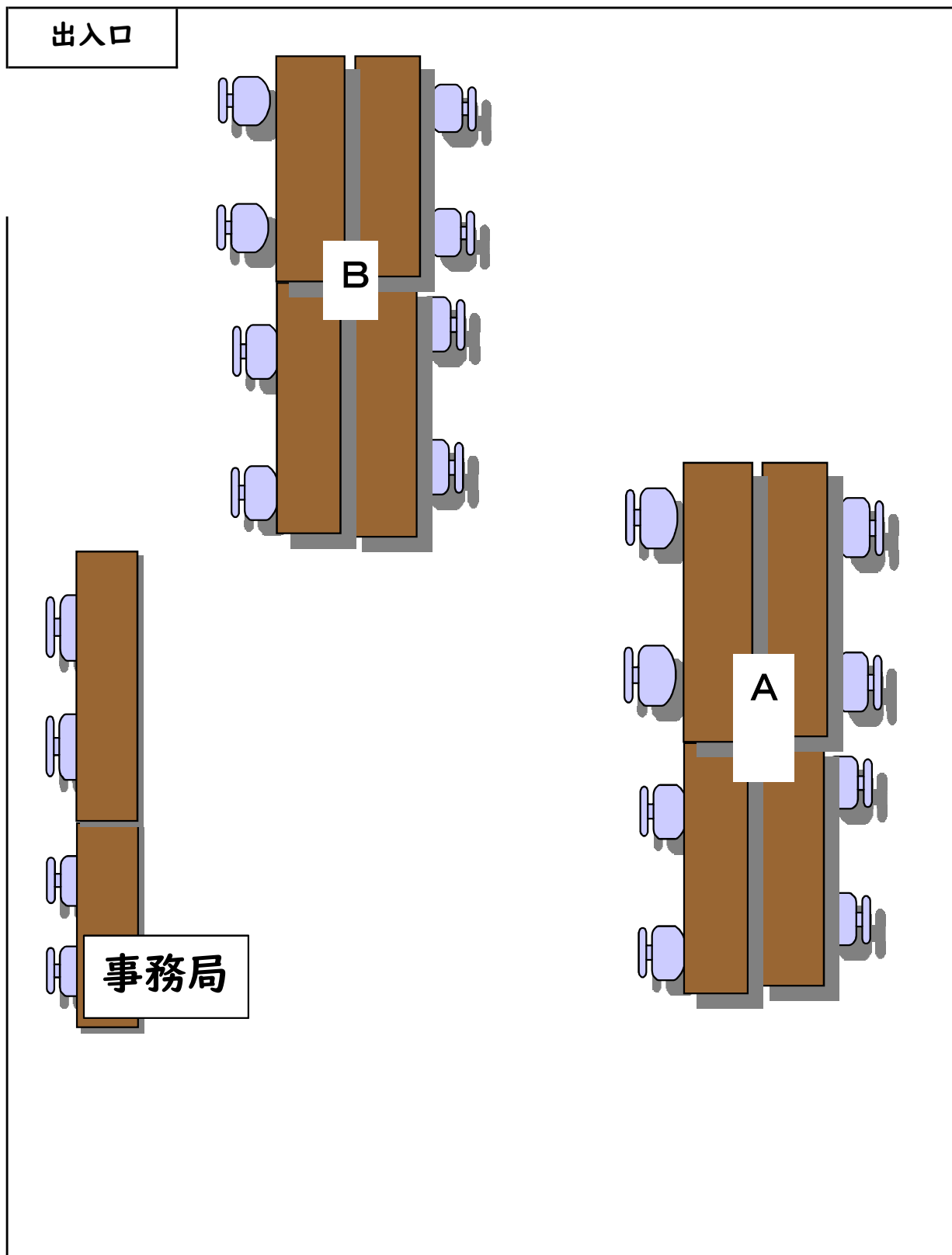
- ・R6 年予定、予算は講師料及びウェビナー設備費など 30 万+チラシデザイン費 8 万

ワークショップ配置図

参考資料-1

南側

出入口



北側

参考資料－２

	氏名	かな	所属等	グループ
1	藤原 孝一	ふじわら こういち	自治会連合会	A
2	鈴木 秀幸	すずき ひでゆき	竜洋中学校	A
3	相川 アンジェラ	あいかわ あんじえら	浜松磐田信用金庫	A
4	薛 堅	せつ けん	在留外国人(中国)	A
5	仲村 修也	なかむら しゅうや	磐田南高校(定時制)	A
6	山田 裕美	やまだ ゆみ	多文化交流センター	A
7	平野 利直	ひらの としなお	平野ビニール工業(株)	欠席
	森 優也	もり ゆうや	磐田市役所	A書記
1	川原 利彦	かわはら としひこ	磐田国際交流協会	B
2	伊藤 雅之	いとう まさゆき	竜洋東小学校	B
3	渡邊 カルロス	わたなべ かるろす	グローバルデザイン(株)	B
4	松井 みき	まつい みき	二之宮こども園	B
5	神谷 マリア	かみや まりあ	在留外国人(フィリピン)	B
6	加藤 知慧子	かとう ちえこ	学校教育課	B
7	松下 隆彦	まつした たかひこ	(株)松下工業	欠席
	池端 美咲	いけばた みさき	磐田市役所	B書記
	田中 琢間	たなか たくもん	在留外国人(ブラジル)	全体総括

※会議当日、グループごと机上にA3サイズのワークシートを御用意します。

内容	企業に自分事として考えてもらうために 興味を持ってもらうために・参加したくなるような	派遣企業、派遣労働者受入企業、技能実習生受入企業？ 大企業、中小企業？ どういったターゲットが効果的か…	対象
企業に届くセミナーにするために より多くの企業に届けるために			
広報	どこに、どんなPRが必要か？	付加価値を付ける、他目的を兼ねるなど +@の仕掛けは何ができるか？	その他